

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2023年度)

| | | | | | | | | | | |
|----------------|--|-------------------------------------|-----------------------|------|-------------|----|---------|---------|-----|----|
| 専門分野区分 | デザイン・作画技法 | 科目名 | デッサンⅣ | | | | 科目コード | D0520D2 | | |
| 配当期 | 後期 | 授業実施形態 | 集中 | | | | 単位数 | 2 単位 | | |
| 担当教員名 | 畑 卓也 | 履修グループ | 2I(GD/MD/SD)2K(DM/DW) | | | | 授業方法 | 演習 | | |
| 実務経験の内容 | 芸術大学美術学科絵画専攻を卒業後現在までの二十数年間に、絵画・版画・造形などの作品制作と、イラストやデザインなどの仕事を通して得た経験を活かして、人間の視覚や知覚のしくみなどにも触れながら、基礎となるデッサンスケッチ表現技術習得の指導を行う | | | | | | | | | |
| 学習一般目標 | 更なる構成力と表現力を身につける 複数の形状・質感・色の異なるモチーフを捉え表現できるようになる。 人物・動物の骨格をふまえ、かたちや動作を表現できるようになる 透視法によって、屋内外の空間を捉え表現できるようになる。 | | | | | | | | | |
| 授業の概要および学習上の助言 | 受け取る情報の大半は視覚を通して取り込まれる。物を観る眼(モノを把握し捉える能力・観察力)を身につけることで、必然的に描写力や表現力が身についていきます。観ることを忘れずに取り組んで下さい。積み重ねることではか身につけません。 | | | | | | | | | |
| 教科書および参考書 | 『静物デッサン テクニック』誠文堂新光社 『アーティストのための美術解剖学』マル社 その他、必要に応じてプリント配布。 | | | | | | | | | |
| 履修に必要な予備知識や技能 | | | | | | | | | | |
| 使用機器 | 各自用意するものとして、鉛筆(2H～4B)、練消しゴム、カッターナイフ、デッサンスケール、クリップ 水彩道具一式(水彩絵の具、筆、パレット。水入れ、雑巾) | | | | | | | | | |
| 使用ソフト | | | | | | | | | | |
| 学習到達目標 | 学部DP(番号表記) | 学生が到達すべき行動目標 | | | | | | | | |
| | 1 | 空間表現の基本、遠近法の理解と把握し、陰影法により立体感を表現できる。 | | | | | | | | |
| | 1 | 鉛筆を使った陰影表現により、立体感を表現できる。 | | | | | | | | |
| | 1 | 骨格や構造を理解し、人物表現できる | | | | | | | | |
| | 5 | 講義と実習において、意欲を持って取り組むことができる。 | | | | | | | | |
| 達成度評価 | 評価方法 | 試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | |
| | 学部DP | 1.知識・理解 | | | | | 80 | | | 80 |
| | | 2.思考・判断 | | | | | | | | |
| | | 3.態度 | | | | | | | | |
| | | 4.技能・表現 | | | | | | | | |
| | | 5.関心・意欲 | | | | | | | | 20 |
| | 総合評価割合 | | | | | 80 | | 20 | 100 | |
| 評価の要点 | | | | | | | | | | |

| 評価方法 | 評価の実施方法と注意点 |
|-------------|--------------------------|
| 試験 | |
| 小テスト | |
| レポート | |
| 成果発表(口頭・実技) | |
| 作品 | 授業内制作作品に対する評価 |
| ポートフォリオ | |
| その他 | 授業に対する姿勢や課題に対する取り組み、出席状況 |

授業明細表

| 授業回数 | 学習内容 | 授業の運営方法 | 学習課題(予習・復習) |
|------|--|---------|-------------|
| 第1回 | 各自の力量、苦手部分に対して目標を設定し ①～④のレベルで作品制作。 ①「石膏像」マルス・アリアス・など ②「組モチーフ」 ③「二・三個のモチーフ」 ④「一個のモチーフ」缶・ビン・ランプなど | 講義・演習 | |
| 第2回 | ●モチーフ①「石膏像」 期間を通して制作 構図を考え、構造や骨格、ボリュームと 細部の関係をしっかりと把握し形を捉え表現する | 講義・演習 | |
| 第3回 | ●モチーフ②「組モチーフ」 期間を通して制作。構図を考え、 空間やボリュームと細部の関係を把握し 形を捉え、質感や細部まで表現する | 講義・演習 | |
| 第4回 | ●モチーフ③「二・三個のモチーフ」 モチーフ2～3個を組合せ作品制作 期間中で2～3作制作 形・質感・色味・文字や模様など細部まで こだわった作品を一点ずつ仕上げる | 講義・演習 | |
| 第5回 | ●モチーフ④「一個のモチーフ」 単体のモチーフを期間中で3～4作制作 形・質感・色味・文字や模様など細部まで こだわった作品を一点ずつ仕上げる | 講義・演習 | |
| 第6回 | ①「石膏像」マルス・アリアス・など ②「組モチーフ」 ③「二・三個のモチーフ」 ④「一個のモチーフ」缶・ビン・ランプなど | 講義・演習 | |
| 第7回 | ①「石膏像」マルス・アリアス・など ②「組モチーフ」 ③「二・三個のモチーフ」 ④「一個のモチーフ」缶・ビン・ランプなど | 講義・演習 | |
| 第8回 | ①「石膏像」マルス・アリアス・など ②「組モチーフ」 ③「二・三個のモチーフ」 ④「一個のモチーフ」缶・ビン・ランプなど | 講義・演習 | |

| | | | |
|------|---|-------|--|
| 第9回 | ①「石膏像」マルス・アリアス・など ②「組モチーフ」 ③「二・三個のモチーフ」 ④「一個のモチーフ」缶・ビン・ランプなど | 講義・演習 | |
| 第10回 | ①「石膏像」マルス・アリアス・など ②「組モチーフ」 ③「二・三個のモチーフ」 ④「一個のモチーフ」缶・ビン・ランプなど | 講義・演習 | |
| 第11回 | ①「石膏像」マルス・アリアス・など ②「組モチーフ」 ③「二・三個のモチーフ」 ④「一個のモチーフ」缶・ビン・ランプなど | 講義・演習 | |
| 第12回 | ①「石膏像」マルス・アリアス・など ②「組モチーフ」 ③「二・三個のモチーフ」 ④「一個のモチーフ」缶・ビン・ランプなど | 講義・演習 | |
| 第13回 | ①「石膏像」マルス・アリアス・など ②「組モチーフ」 ③「二・三個のモチーフ」 ④「一個のモチーフ」缶・ビン・ランプなど | 講義・演習 | |
| 第14回 | ①「石膏像」マルス・アリアス・など ②「組モチーフ」 ③「二・三個のモチーフ」 ④「一個のモチーフ」缶・ビン・ランプなど | 講義・演習 | |
| 第15回 | ①「石膏像」マルス・アリアス・など ②「組モチーフ」 ③「二・三個のモチーフ」 ④「一個のモチーフ」缶・ビン・ランプなど | 講義・演習 | |